

評価基準書

別紙2

区分	評価項目	評価の視点	内訳	評価得点 (最低水準点)
(1) 趣旨の理解及び 経営の健全性	① 趣旨の理解について	・本市が意図する主旨を正確に理解しているか。	10	15 〈6〉
	② 資金力・経営の健全性について	・事業遂行のための経営基盤を有しているか。	5	
(2) 業務実績	① 業務実績について	・関連業務に係る業務実績及び本業務に必要な知見、専門知識、ノウハウを有しているか。	15	15 〈6〉
(3) 業務執行体制と スタッフの経験及び 能力	① 執行体制について	・業務執行のための適切な人員配置及び役割分担が妥当か。 ・市との連絡・調整が速やかに行える体制か。 ・進捗確認が的確にでき、問題発生時の適切な対応が考慮されているか。	15	30 〈12〉
	② 実施管理者、主要スタッフについて	・過去5年間に担当した業務の実績はあるか ・従事者は本業務を遂行する上で必要な知見、専門知識等を有しているか。	15	
(4) 事業計画(企画書について)	① 具体性について	・仕様書の業務内容について、より詳細で具体的な提案をしているか。	10	80 〈32〉
	② 的確性について	・目的を達成するための業務遂行へのアプローチは的確か。 ・現状認識や課題の捉え方、統計分析は的確か。	15	
	③ 企画力について	・提案内容が、企画力に富んだものとなっているか。	15	
	④ 表現力について	・理路整然とまとめられており、視覚的にも分かりやすく表現されているか。	10	
	⑤ 柔軟性について	・業務遂行に伴い生じる新たな課題に対して柔軟な対応が可能であるか。	10	
	⑥ 独自提案について	・業務の目的達成のための適切な独自提案がされているか。 ・創意工夫がみられるか。	10	
	⑦ 意欲・熱意	・業務遂行に必要な意欲・熱意や粘り強さを有しているか。	10	
(5) 価格	令和3～5年度の履行期間(3年間)の委託料の総額 (消費税及び地方消費税を含む。)	(1-提案額/提案限度価格)×60点(小数点以下切捨て)	60	60
合 計				200